


修士課程

		1年 前期	1年後期	1年通年	2年前期	2年後期	2年通年	最終試験	
1 知識・理解について	<ul style="list-style-type: none"> 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。 創薬プロセスの中での自らの研究の位置づけを理解し、総合学問としての創薬科学を理解している。 薬学・創薬の周辺分野との連携問題を理解している。 	薬学総論Ⅰ 薬剤・動態学 薬物送達システム学 物理化学的測定法 機能性分子の設計と機器分析 細胞複製システム論 大学院有機化学 最先端創薬研究論 天然資源学 がんの分子腫瘍学と創薬	薬学総論Ⅱ 薬理・基礎理論 薬理・疾患治療 タンパク質創薬論 細胞内タンパク質輸送システム論 内外環境物質応答論 染色体生物学とのがん研究への応用	先端研究実験Ⅰ	薬学総論Ⅰ 薬剤・動態学 薬物送達システム学 物理化学的測定法 機能性分子の設計と機器分析 細胞複製システム論 大学院有機化学 最先端創薬研究論 天然資源学 がんの分子腫瘍学と創薬	薬学総論Ⅱ 薬理・基礎理論 薬理・疾患治療 タンパク質創薬論 細胞内タンパク質輸送システム論 内外環境物質応答論 染色体生物学とのがん研究への応用	先端研究実験Ⅱ	修士論文発表会	修士論文提出
2 技能	i) 専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力に基づく研究遂行能力と問題解決能力を備えている。 先端研究を遂行する上で必要な実験技術を系統的に修得している。 薬学固有の高度な専門的研究能力を備えている。 薬学固有の高度な専門領域の理論、方法論、技術を統合し、応用できる。 ii) 汎用的能力 <ul style="list-style-type: none"> 学術研究の進展や社会構造の変化に対応できる。 直面する多くの諸問題を解決し、研究を広く展開していくことができる。 プレゼンテーション能力及び討論力を備えている。 国際化の進む医薬品産業の中で活躍できる国際的競争力を備えている。 	研究報告中間発表会	研究報告中間発表会	先端研究実験Ⅰ	研究報告中間発表会	研究報告中間発表会	先端研究実験Ⅱ	修士論文発表会	修士論文提出
3 態度・志向性	<ul style="list-style-type: none"> 自ら主体的に研究を遂行できる積極的な研究能力を備えている。 企画力や交渉力を持った次世代リーダーの素養を備えている。 創薬研究者としての適性と科学的思考能力を備えている。 	連携大学院合宿研修 インターンシップ実習	薬学総論Ⅲ インターンシップ実習	先端研究実験Ⅰ	連携大学院合宿研修 インターンシップ実習	薬学総論Ⅲ インターンシップ実習	先端研究実験Ⅱ	修士論文発表会	修士論文提出

博士後期課程

		1年		2年		3年		最終試験	
1 知識・理解について	<ul style="list-style-type: none"> 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。 論文投稿のノウハウを理解している。 高度融合研究を実施するための必要な知識を理解している。 	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		
2 技能	i) 専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考力に基づく研究遂行能力と問題解決能力をより柔軟に備えている。 独立心に富み、高度の研究推進能力を有している。 高度融合研究の実戦能力及び討論力を備えている。 創薬科学の立場から、臨床薬学に着目した研究理論、技術及び発想を習得している。 ii) 汎用的能力 <ul style="list-style-type: none"> 実社会対応の課題探求・問題解決能力を備えた実践型研究を実施できる 専門分野以外の異なった研究分野の理論、技術、発想を取り入れ独自性の高い研究実験を展開できる。 プレゼンテーション能力及び討論力を備えている。 国際化の進む医薬品産業の中で活躍できる国際的競争力を備えている。 	先端研究指導実習	高度融合研究実験 高度融合研究演習Ⅰ	先端インターンシップ実習	高度融合研究実験 高度融合研究演習Ⅱ	先端科学論文発表	高度融合研究実験		
3 態度・志向性	<ul style="list-style-type: none"> 自ら主体的に研究を遂行できる積極的な研究能力を備えている。 コミュニケーション能力、ディベート力、指導力を備えている。 創薬科学と臨床薬学のコラボレーションにより新研究領域を開拓できる。 	創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習			
								博士論文公聴会	博士論文提出

博士課程

		1年		2年		3年		4年		最終試験			
1 知識・理解について	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の適正使用を推進するため、服薬指導・薬歴管理・リスクマネジメント・安全な薬物療法の提供・医薬品情報の伝達や治験の推進等の業務についての知識・技能習得に止まらず、さらに高い専門性を習得している。 論文投稿のノウハウを理解している。 治験に関する業務、法律一般について演習し、治験の内容を理解している。 	腫瘍治療学Ⅰ 臨床研究演習 大学院共通教育科目	腫瘍治療学Ⅱ 臨床試験演習 大学院共通教育科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科				
	2 技能	腫瘍治療学実習		腫瘍治療学実習		腫瘍治療学実習				先端医療薬学研究実験Ⅰ	先端医療薬学研究実験Ⅱ	先端医療薬学研究実験Ⅲ	先端医療薬学研究実験
	3 態度・志向性	臨床研究演習	臨床試験演習	創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習			
										博士論文公聴会		博士論文提出	

